

資料2（議題2）

令和3年度市街地循環バス実証運行事業について

議題に関する説明

「館山市地域公共交通網形成計画」の中で、重点的に取り組む分野の一つとして掲げた「市街地の回遊性向上」に資する施策事業として、令和3年1月5日から3月5日の2か月間実証運行を行ったが、ほぼ全ての期間が新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言下となってしまう、平常時の利用動向を測ることができなかった。また、令和2年度の実証運行で課題や利用者意見が数多く出されたことから、浮かび上がった課題等を改善し、アフターコロナに向けた外出促進を図るとともに、本格運行の必要性を再検討するため、令和3年度も実証運行を行うこととする。なお、実施に係る財源については、国の新型コロナ対策臨時交付金を活用する予定である。

実証運行実施概要（案）

目的・必要性

令和2年度実証運行の結果も踏まえ、本格運行の必要性を再検討する。

事業実施により期待される効果

- ・ 運行期間中の市街地における回遊性と市民の利便性向上
- ・ 新たな交通需要・移動需要の掘り起こし
- ・ 利用状況等データの継続収集による的確なニーズの把握
- ・ 商店街のキャンペーン等との連動による集客効果の増

令和2年度実証運行からの主な変更点（案）

運行形態	北エリアと南エリアの「8の字」型運行とする 北エリアから南エリアへの移動が乗換なしとなる
	各エリアとも、片側回りのみの運行とする 令和2年度実証運行で利用状況に大きな差がみられたため
運行時間	運行時間帯を、館山駅9時台～16時台帰着とする 令和2年度実証運行において、買物利用の目的が大半を占めたことや、朝・夕のご利用が少なかったことから時間帯を見直し
運行経路	南エリアのルートを変更 長須賀エリア、城山エリアを通るコースとし、商店街・住宅地・観光地（市民憩いの場）を経由することによる効果を検証する
	北エリアのルートの一部変更 要望のあった業務スーパー付近への停留所設置を行う

その他、令和2年度実証運行に追加する施策（案）

- ・フリーパスの導入
- ・キャッシュレス決済（PayPay等）の導入
- ・千葉工業大学と連携し、時刻表、チラシ、停留所等のトータルデザインを学生に作成してもらう
周知・PR効果や分かりやすさの向上を狙う

アンケートについて

- ・アンケートについては令和3年度も継続して利用者に協力を依頼し、ニーズの把握に努める。

その他運行内容案の詳細については、資料2-1～2-3もご覧ください。

運行の方法

- ・事業者への委託による運行とする。
- ・事業者の選定については、応募があった事業者の企画提案内容を総合的に審査し、本事業の目的・内容に最も適した事業者を選定する「公募型プロポーザル方式」にて実施する。

本格運行に向けた評価指標について

- ・今年度は、令和2年度実証運行で課題となった周知を強化し、市民の皆さんのバスに対する信頼を獲得することで、昨年度より多くの方に利用していただくことを目標とする。
- ・本格運行に向けては、利用者数のほか、利用者からの意見等を含め総合的に判断し、検討したいと考えている。

今後のスケジュール（予定）

- ・5月13日：事業者選定（公募型プロポーザル方式）**実施済**
- ・～5月下旬：ルート、ダイヤ確定後、バス停設置箇所や道路管理者、警察との協議・調整実施
- ・6月上旬頃：国への運行認可申請
- ・～7月上旬：千葉工業大学とのトータルデザイン構築作業ほか準備作業
- ・7月中旬頃：トータルデザインに関するコンペ開催 デザイン確定
- ・8月1日～11月30日：実証運行実施（4ヵ月間）